

高知おおとよ製材(株)研修報告書



設計課 細谷 彩貴

研修日 平成 29 年 2 月 15 日
研修地 高知おおとよ製材株式会社
高知県長岡郡大豊町川口 2035 番地 1

おおとよ製材(株)の概要

工場敷地面積 38,883 m²
建築面積 鉄骨平屋建(延床面積)10,717 m²
製造品目 柱、平角、土台、間柱、ラミナ等(杉、桧)

製造の流れ

原木の仕入れ・・・樹種、品質、長さ別に単価を決定し、安定した数量を仕入れる為に 3 か月協定を供給側の高知県森林組合連合会の責任で結んでいる。

製材・・・事前に製材のデータをコンピューターに入力して製材。コンピューターが 1 本 1 本形が違う木材を出来るだけ無駄な切断をしないように判断する。

乾燥・・・高温乾燥器を使い 4 日間かけ徐々に自然な乾燥に近づけ、急激な温度変化を避けて割れ、ひび割れを防止する。また、乾燥機に使用される燃料は製材の時に出了た木屑を使っている。そして養生に 1 週間かけて外気に触れさせ、含水率を減少させている。

加工・・・材料ごとに各機械で加工する。

選別・・・含水率検査は 20%未満が合格。強度試験は JAS 認定の機械にて等級区分する。ここでは 1 本ずつ全ての木材がデータで管理されている。

出荷・・・日栄へ出荷される桧には、「土佐桧」の刻印がされて出荷されている。

桧について

桧は加工のしやすさ、防腐、防蟻性の高さ、独特の香り、そして強度は伐採後から 200 年かけて強度が強くなり、1000 年かけて伐採時の強さに戻るといった特性があり、日本古来から愛され多用されてきた。

土佐桧・・・桧の産地は色々あり、また産地によって色々な特徴もある。土佐桧は強度が強く、樹脂分が多く含まれている特徴がある。樹脂が多いと防水や防蟻、消臭の効果が高まることになる。

製材所を視察して

まず敷地内に入り驚いたのは工場内の綺麗さです。しっかり整理整頓されておりました。

そして工場長岡田様の木材への熱意、愛情は説明を受ける度、凄く伝わってきました。徹底した供給、生産、生産管理をして提供されていることを勉強させていただいたので、これから御客様に自信を持って土佐桧のご説明していきたいと思ひます。